

31

五万回斬られた男・福本清三

十五歳で京都の米屋に奉公に出た「私」は、映画会社の撮影所で働く話が舞い込んできたことから、大部屋俳優になりました。体力的に厳しく、過酷なスタントアクションをこなすうちに、時代劇の斬られ役をやるようになります。主役を目だたせる斬られ方に知恵をしばってやり続け、ついにはハリウッド映画に出演することになります。



わたし ふくもとせいぞう
私 (福本清三さん)

